



広報 あぜりあ

2022.12 発行
NO. 0001



はじめまして

【創刊号】

このたび、より多くの市民のみなさんに本校の様子を知っていただきたく、広報「あぜりあ」を創刊しました。

「あぜりあ」では、学校や学生の様子などを掲載していきます。どうぞよろしくお願ひします。

発行

いわき市医療センター看護専門学校
TEL 0246-27-1200

フェイスブック



ホームページ



岩橋 成壽 校長

本校の歴史を紹介いたします。母体病院であるいわき市医療センター（旧：総合磐城共立病院）は昭和25年に開設されました。初代院長である島山靖夫院長が自力で看護師養成することを決意し、昭和43年4月に本校を開校、今日に至ります。

本校の教育の特色は、教員による手厚く熱意ある指導と母体病院における恵まれた実習体制にあります。プロフェッショナルな看護師を目指すための基礎となる、時間厳守などの規律、常に温和で礼儀正しい行動、幅広い知識と視野を得るための読書習慣を身につけることも教育目標です。

看護職は直接的に人を助け、人の役に立ち、感謝も得られるやりがいのある仕事です。

将来への希望と意欲に満ちあふれ、看護師になりたい、地域医療に貢献したいと願う皆さん、是非とも本校においでください。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。



安永 亨 副校長



高木 文子 副校長



草野 ちづ 教務主任

想像してください。

もし、あなたやあなたの大切な人が、生命の危機も感じるほどの耐え難い痛みや苦しさに苛まれ、すがり思いで医療機関を受診したとします。どのような看護師さんに対応してもらいたいですか？おそらく心にも身体にも優しく寄り添いながら、テキパキと適切な処置をしてくれる看護師さんを想像したのではないのでしょうか。患者さんを癒すためには、正しい知識や技術を習得することは勿論のこと、人間性を磨くことも必要でしょう。それら必要なものが本学にはそろっております。未来のあなたが一番影響を及ぼす人は、今のあなたです。本学で学び、巣立っていく方々に対して、私自身は一番の応援団として接していく覚悟です。

国家試験を終え、卒業式を迎える日に思うのは、学生一人ひとりの成長の軌跡です。学生と関わる教員は、全員が専任教員講習会を修了し、カシウンセラ養修を受講しています。明るく元気をな学生たちは多彩な実習を通して患者さんや実習指導者、教員など多くの人たちと関わり、文化祭や自治会行事などでは、仲間たちと協働してより創造的な成果を産みだします。出会いと学びは心をゆさぶりが自分自身を見つめ直すかけがえのない経験となり、その先に成長があるのです。

将来、看護師として地域医療に貢献したいと意欲を持っている方々へ入学していただき、成長と学びを全力で支援できる学校でありたいと願っています。

「看護とは新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔、静寂さを適切に活用し、食事を適切に選択し与えるなど、すべての病人の生命力の消耗を最小限にするよう適切に行うことである。」これは、ナイチンゲールの言葉です。今から100年以上経っていますが、看護の基本は変わっていないと思います。

令和4年度から新カリキュラムとなり、多職種が連携しチームで働く力、情報を使いこなす力、病院から地域まで見据えた看護、できるだけ住み慣れた地域や家で過ごす視点を持つ看護を学んでいます。様々な方への感謝の気持ちを大切に、人としても成長していくことを後押ししていきたいです。そして、学生と共に学び、学生の夢が叶うよう支援していきたいと思っています。



1年生（第55期生）

多くの人たちに生きる勇気と希望を与えたい、誰かを支えられる存在になりたい、人の命を救いたい、それぞれの意思を持ち入学しました。仲間とともに看護師になるための目標を設定しました。数日経つと、互いに分からないうことを教え合い、互いに助け合っていて、学習や実習を乗り越えられるようになりました。初めての実習では、本物の医療現場を目の当たりにして、将来のイメージをそれぞれが持ちました。地域実習では地域の人たちの暮らしの特徴を知り、本当の意味で人に寄り添える看護を学びました。私たちは、看護の本質を学び始め、それぞれが目指す看護師に向かって進み続けています。多くの困難にも支え合いながら、クラス全体で乗り切っていきたいです。



2年生（第54期生）

54期生を一言で表すなら？をみんなに聞きました。以下は54期生の答えです。「伸びしろがあります！ピンチをチャンスに変える。友情。場に応じてメリハリをつけ、協力できるクラス！支えあえる元気な仲間！やるときはやる。切磋琢磨。練習量は人の3倍！」この答えからも分かるように、54期生は何事にも一生懸命でお互いを尊重し、互いに支えあいながら強い意志を持ってそれぞれの夢の実現に向け頑張っています。「己の魂を燃やせ！」とクラス目標を掲げ、患者さんのニーズに合った看護が提供できるよう、同心協力して日々の学習を積み重ね、模試や実習に対応できる力を身に付けようと、日々学習に励んでいます。



3年生（第53期生）

私たち53期生は、穏やかな人から元気いっぱいな人まで、個性あふれる女子35人が集まった楽しいクラスです。何事にも本気で取り組み、本気でぶつかる熱いクラスゆえ、喧嘩も多いですが、その度にさらに絆を強くしてきました。今年最高学年のため、来年から看護師として理想とする看護の実践をすることを目標に、日々実習や国家試験の勉強に、助け合いながら励んでいます。残り少ない学生生活を悔いの残らないようメリハリある生活のなかで、思い出づくりに励みたいと思います。加えて、2月の国家試験に向け、クラス一丸となって合格できるよう頑張っています。



いわき市の
“市の花”は「つつじ」です。
写真は本校の「つつじ」です。
「あぜりあ」は、つつじの列名
です。

看護技術の練習の大切なパートナー
モデル人形
「八重さん」です。

自分たちの夢に向かって、
さまざまなことを学んでいます。